

# すこやか

第24号

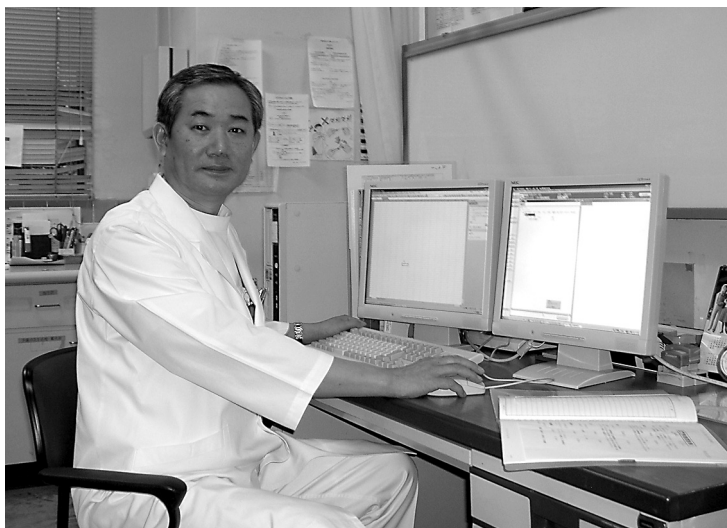
2006/3/15

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

## 電子カルテシステムを導入いたします



(コンピューター端末が2台、プリンター1台が診察室に設置されます)

市立伊丹病院では、平成18年4月から電子カルテシステムを導入します。平成5年7月から医事・オーダリングシステムは稼動していましたが、このたびの新しいシステム導入により、1. 医療の質と安全性の向上、2. 患者サービスの向上、3. 経営基盤の充実を目標としております。患者様が複数の診療科を受診されている場合でも、すべての投薬および検査について瞬時に

かつ正確に把握することができるようになります。医師が直接コンピューター入力しますので誤処方の防止や検査の充実など、入力の時点での質の向上も得られます。コンピューター画面上に種々の検査結果を表示することができますので、必要に応じて医師と共に画面を見ながら説明を聞くことができるようになり、患者様が診療経過を理解しやすくなります。

病棟では当初から電子カルテ化でスタートしますが、医療スタッフ間の診療情報の共有化により、患者様を中心としたチーム医療を充実することが可能になります。また、業務の流れを見直し、外来診察や会計の待ち時間の短縮に努めておりますが、医師が自ら投薬や検査など多くの項目をコンピューター入力することになりますので、新しいシステムが軌道に乗るまでの間は時間がかかることが予想されます。そこで、外来では当分の間、完全電子カルテ化にはせずに記録は紙カルテを併用し、予約業務は医師以外も関与できるなど、患者様に待ち時間でご迷惑がかからないように当院独自の工夫をしました。しかしながら、これだけの準備をしても、導入直後には一時的に待ち時間が長くなるかもしれません。将来のための過渡期として、ご容赦のほどよろしくお願いいたします。

## 《 ～いつも暖かい手と優しい声かけを～ 》

皆様は手術を受けたことがありますか。？ 多くの皆様は、手術室は未体験のエリアだと思います。一般的に手術室は、怖いというイメージがあると思いますが、私たち手術室の看護師は其中で患者様が少しでも安心して安全にすごせるように援助する役割を担っております。当院では、年間約2,300人の患者様が手術を受けられます。平成16年度は全身麻酔手術が約900件、腰椎麻酔が約600件で後は局所麻酔の手術などです。

それでは手術室の看護師について一部をご紹介します。手術室の看護師が病棟の看護師と違うところは、白衣を着ていないところです。皆様のイメージしている白衣の天使とは少し印象が違うかもしれません。清潔な場所であり、また、瞬時に動けるようにブルーのパンタロンを身につけキャップ、マスクをしています。マスクをしており眼だけ出ているためスタッフの素敵な笑顔をお見せできない事が残念です。しかし、マスクをしていても暖かい手と優しい声かけは忘れずケアしています。

また、私たちは手術室の中で働くばかりでなく担当の患者様(入院の患者様)が決まると手術の種類によりますが、手術日前日～当日にかけて手術前訪問を行っています。患者様の病室に行き、手術室の環境や手術をするまでの手順についてご説明させていただきます。患者様に関わる時間は短時間ですが、手術前訪問をさせていただく事でこれから受ける手術、麻酔、手術後のことなど様々な不安や緊張が少しでも軽くなり安心して手術が受けられるよう援助できればと思っています。

最後に、伊丹近辺での緊急手術にも対応できるよう医療スタッフ一同日々研鑽を重ねてまいります。また、地域の皆様に信頼される病院作りに努めたいと考えております。

(OP室)



## 新規導入された血管内超音波画像診断装置について

心筋梗塞・狭心症に代表される虚血性心疾患は、我が国においてmpがんに次いで2番目の死亡原因となりました。これらの病気に対して冠動脈造影（CAG）を施行し、冠動脈に狭窄部位があればPTCAと呼ばれる経皮的冠動脈形成術（いわゆる風船治療）やステント留置術を行い、治療・予防することが可能となってきております。当院循環器科においても年間CAG約400例、PTCA約150例を施行しています。

しかし、残念ながらPTCA後には6～9ヶ月を経て、拡張した狭窄部位の20～40%に再狭窄が生じるとされています。今年度採用された血管内超音波画像診断装置（IVUS：IntraVascularUltraSonography）を用いることによってPTCA時に、狭窄の程度、狭窄の長さ、血管径、狭窄病変の症状などをより詳細に診断でき、それらの情報を基に、より正確なサイズ（太さ、長さ）のバルーンカテーテルやステントを選択できるようになります。

このことによって再狭窄率を下げ、より安全に処置を行えるようになることが期待できます。

循環器科



## 院外処方せん発行のご案内

当院では平成18年4月3日から外来患者様に「院外処方せん」の発行（医薬分業）を始めます。「院外処方せん」の発行を希望される方は診察時に担当の医師にお申し出ください。

診察時に「院外処方せん」をお渡ししますので、会計を終了された後に、患者様が希望される院外の保険薬局にお持ちになり、そこでお薬を受け取っていただくことになります。「院外処方せん」はどの保険薬局でも受け付けてもらえますが、あらかじめ一つの保険薬局を「かかりつけ薬局」として決めておかれまして、どこの病院や診療所にかかられても、お薬に関する情報がすべて集められますので安心です。



## 人間ドックのご案内

定期的に当院で人間ドックをご利用いただきますと検診データの蓄積により、担当医の指導内容も的確なものとなります。また、要精密検査や要治療となった場合でも、当院での早期治療の体制が整っており、その検診データを有効利用できます。

ご自身の健康管理のために、年に一度の人間ドックのご利用をお勧めいたします。

ご利用に当たっては、伊丹市の国保加入者の方には、2分の1から最高4分の3までの助成制度があります。また、健康保険組合の方も助成制度がありますので、ご確認の上お申し込みください。

コース、利用料金は、次のとおりです。

- |            |        |               |
|------------|--------|---------------|
| ①1泊2日のホテル泊 | 昼・夕食付き | 63,000円（消費税込） |
| ②0泊2日の日帰り  | 昼食付き   | 47,000円（ 〃 ）  |
| ③日帰り       | 軽食付き   | 38,000円（ 〃 ）  |
- （午前中で終わります。）

お申し込みは、1階人間ドック受付に直接していただくか、ご利用1週間前までに電話でお申し込みください。電話番号 072-777-3773（内線2583または人間ドック担当）

**医師の人事異動が下記のとおりありましたので、お知らせいたします。**

採用（ 年 月 日）	退職（18年1月31日）
	外 科 梅 本 健 司